

明けまして

おめでとうございませう

(羊の古序)



新年おめでとうございます。

戦後七十年、しみじみと平和のありがたさをかみしめて新春を迎えました。

寺の境内では、寒さに負けずに「カンアヤメ」が可憐な花をひらいて、初春の喜びを尋いでいます。

この平和な世が、何時までも続くことを願わずいられません。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年の暮れに、伊勢崎市のある寺さんで、新し

お坊さんになるといふ、お二人の方の出家のための、得度式が行われました。

この式典

を進める為

六人のお坊さん方が立ち会

いました。私はこの式典の

進行やお弟子さんを導く会

奉行の役を引き受けて、得度

式を進めました。

お坊さんになるために、

大切な十の誓い「十善戒」が

ありますが、この誓いは人と

して、もっとも大切な誓いで

もあります。

第一に「不殺生戒」です。「あなたは、慈悲の心を

日々の生活の中心にしなければなりません。生き物

の命を大切にしなければなりません。むやみに生

き物の命を奪うことは、第一の罪です。あなたは、い

れから先、一生涯、この誓いを守る心が出来ます

か。「お師匠さんが、きびしく質問します。

お弟子さんは、「はい、心を込めて誓います。」「はい、

「両親をはじめ、式典に立ち会った大勢の皆さんの

前で誓います。

十の誓いの中には、他に「不妄語戒」「不綺語戒」

「不悪口戒」「不両舌戒」と、四つの言葉「かかわる

戒めが命まわっています。

「不妄語戒」人は、常に真実の言葉で話さねば

なりません。いじわるな妄想で話してはなりません。

「不綺語戒」いじも真面目な言葉で話さねばなりません。

なりません。いじわるな言葉を使ったり、いじわるなため

な話をして、人の心を乱してはなりません。

「不悪口戒」常に、気持ち良い言葉で話し、怒りや

いじわるな言葉を使ってはなりません。人の悪事を話

さず、相手の良いところを話さねば

「不両舌戒」一枚舌を使い「はい」は許されません。

いじわるな言葉に信頼しあひ、気持ちよく過す

ような言葉使ひで話し「うが大切です。

近隣同志にしても、仲間同志にしても、家族同志

にしても、言葉ほど人の心を傷つけたり、励ました

り、癒しの心を誘うものではありません。

人々の和をつちかたり、人と人との対立を生む

のもまた言葉です。互いに信頼し「おん言葉」「

お口」を引ききたて、人々から信頼されるのとはな

りませんか。心して日々を過したいものです。

寺楽
常楽
だより
平成27年
1月4日